

# 公立岩瀬病院

## 経営強化プランの概要

### 第1 公立岩瀬病院経営強化プラン策定について

#### 1 経営強化プラン策定の趣旨

当院は、これまで総務省が示す公立病院改革ガイドライン及び新公立病院ガイドラインに基づいて、「経営の効率化」、「再編・ネットワーク化」、「経営形態の見直し」、「地域医療構想を踏まえた役割の明確化」を盛り込んだ「新公立岩瀬病院改革プラン（2017（H29）年4月）」を策定し、病院経営の改善に取り組んできました。しかし、病院を取り巻く環境は、医師等の人材確保の厳しい状況や人口減少・少子高齢化の進展に伴う医療需要の変化、医療の高度化などによる経営環境の急激な変化、さらに光熱水費の高騰をはじめとした支出負担の増加により、経営状況は依然として厳しい状況に直面しています。

当経営強化プランは、先の新公立岩瀬病院改革プランの経営指標を踏襲しつつ、総務省から示された「持続可能な地域医療提供体制を確保するための公立病院経営強化ガイドライン」に基づき、地域からの要請や医療を取り巻く新たな課題に対応しながら病院運営の強化を図るための指針として新たに策定したものです。

#### 2 経営強化プランの期間

2024（R6）年4月1日～2028（R10）年3月31日までの4年間の計画

#### 3 当院を取り巻く環境の変化

2020（R2）年の県中地域の人口は、520千人余、高齢化率は28.9%となっています。今後、さらに急激な人口減少と高齢化が進み、2050（R32）年には、人口が375千人余、高齢化率は42.7%になると推計されています。この人口急減・超高齢化による医療ニーズが大きく変化するとともに、働き方改革への対応や就業者数が大きく減少する中での人材の確保など、病院を取り巻く環境はさらに厳しい状況が続くと予想されます。

### 第2 経営強化プランの内容

#### 1 地域医療構想等を踏まえた当院の果たすべき役割

地域医療構想の目標年である2025（R7）年においては、地域包括ケアシステムの中心的役割を担い、専門性の高い医療を提供する「急性期機能」を病院機能の中軸とし、地域包括ケア病棟（回復期）を効率的に運用し、在宅復帰を支援します。

さらに、本プラン最終年度の2027（R9）年度には、県中及び県南地域における新生児特定集中治療室（NICU）新生児治療回復室（GCU）機能の強化による高度急性期医療の提供を目指します。また、超高齢社会を迎え、慢性的な疾患を抱える高齢者や認知症患者の増加とともに、疾病や障害を持ちながら住み慣れた地域で生活する在宅療養者が増加しており、今後、医療と介護の両方を必要とする人が増加していくと見込まれ、当地域の在宅医療支援を行う必要があります。

病床区分		病床数		
		2023年度 (現在)	2025年度	2027年度
一般 病 床	高度急性期	0床	0床	9床
	急性期	225床	225床	216床
	回復期	48床	48床	48床
	休止病床	56床	56床	56床
	感染病床	6床	6床	6床
合計		335床	335床	335床

(1) 手術支援ロボットの導入

地域における高度な医療の提供のため、できるだけ早期に手術支援ロボットの導入を図ります。

(2) 災害拠点病院としての取り組み

災害拠点病院として地域における役割や機能を明確にし、BCP に基づく関係機関と連携したトリアージ訓練をはじめとした大規模災害時に対応できる体制を確保します。

(3) 救急医療の確保

救急医療はこの地域に暮らす住民にとって安全安心に暮らすため、必要不可欠な機能です。救急車受け入れ件数の増など救急医療の充実を目指します。

(4) 周産期医療の提供

当地域において「安心して産み育てる医療環境」を提供することへの地域の期待は極めて大きいものがあり、小児医療の充実と併せ周産期医療の提供を持続していきます。

(5) へき地医療拠点病院の指定

民間では採算性確保の面で困難なへき地医療についても、地域の住民が住み慣れた場所で暮らしていけるようサポートする必要があります。へき地支援の在り方について、関係機関と協議するとともに、早期のへき地医療拠点病院の指定に向けた取り組みを行います。

## 2 地域包括ケアシステムの構築に向けて果たすべき役割

(1) 医療・介護・福祉のシームレスなサービス提供体制の構築にむけて

今後、高齢化が一層進行する地域社会において、地域住民が医療・介護・福祉のシームレスなサービスをストレスなく受けられるように関係機関との連携強化を図り、包括的かつ継続的な医療を提供します。

(2) 診療所支援等在宅医療に関する役割

急激な高齢化の進展の中で、在宅医療の果たす役割は非常に重要です。当院は、地域の診療所・クリニックへの支援と連携の強化を行い、地域包括ケアシステムの構築を目指します。

(3) 健康長寿事業への協力支援

2015（H27）年、須賀川市では福医大臨床研究イノベーションセンターの提案した健康長寿事業をスタートさせました。この健康長寿事業がさらに効果的な成果を生み出すよう、今後とも協力し、地域を支えています。

### 3 医療機能や医療の質、連携の強化等に係る数値目標

#### (1) 医療機能・医療品質に係るもの

	2022年度 (実績)	2023年度 (見込)	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
救急受入件数(件)	1,356	1,600	1,600	1,650	1,650	1,700
手術件数(件)	3,234	3,300	3,350	3,350	3,400	3,400
内視鏡検査(件)※健診含む	4,957	5,000	5,100	5,100	5,200	5,200
臨床研修医数(人)	7	8	8	8	8	8
訪問看護件数(件)	6,439	6,900	7,200	7,200	7,200	7,200
在宅復帰率(%)	98.2	97.4	98.0	98.0	98.0	98.0
リハビリ件数(件)	34,820	35,000	36,750	36,750	38,500	38,500
分娩件数(件)	449	410	415	420	425	430
クリティカルパス件数(件)	2,168	2,200	2,250	2,300	2,350	2,400
患者満足度調査結果(%)	57.0	61.0	62.0	63.0	64.0	65.0
健康・医療相談件数(件)	77	80	85	85	90	90

#### (2) 連携の強化に係るもの

	2022年度 (実績)	2023年度 (見込)	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
へき地医療支援(件)	0	3	12	12	12	12
紹介率(%)	34.8	39.7	40.4	41.1	41.8	42.6
逆紹介率(%)	46.5	50.8	51.3	51.8	52.3	52.7

### 4 新興感染症の感染拡大時に備えた平時からの取り組み

感染拡大時における各医療機関の間での連携・役割分担の明確化や専門人材の育成・確保等に努めます。さらに、感染拡大時を想定した対応訓練の実施や感染防護具等の備蓄、診療継続計画(BCP)の見直し等を行い新興感染症の拡大時に備えるなどの取り組みを行います。

### 5 経営指標に係る数値目標

#### (1) 収支改善に係るもの

	2022年度 (実績)	2023年度 (見込)	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
経常収支比率	87.1%	85.8%	94.0%	97.6%	100.6%	102.6%
医業収支比率	85.8%	85.0%	92.5%	95.4%	98.6%	100.3%
修正医業収支比率	79.2%	78.6%	85.8%	88.1%	91.4%	93.3%

#### (2) 収入確保に係るもの

	2022年度 (実績)	2023年度 (見込)	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
1日当たり入院患者数(人)	163.0	177.5	201.7	212.7	219.0	225.0
1日当たり外来患者数(人)	398.8	385.0	380.0	390.0	390.0	390.0
1日当たり入院診療単価(円)	55,200	53,510	54,842	55,573	56,365	56,276
1日当たり外来診療単価(円)	13,856	14,271	14,305	14,331	14,500	14,500
医師1日当たり入院収入(円)	219,486	220,885	251,402	262,676	274,311	281,378
医師1日当たり外来収入(円)	134,757	127,779	123,545	124,200	125,667	125,667
看護師1日当たり入院収入(円)	34,745	36,672	42,545	45,463	47,477	48,700
看護師1日当たり外来収入(円)	21,332	21,214	20,908	21,496	21,750	21,750
病床利用率(%)	58.4	63.6	72.3	76.2	78.5	80.6
平均在院日数(日)	13.2	13.2	13.0	13.0	13.0	13.0
DPC機能評価係数	1.4337	1.4337	1.4337	1.4338	1.4339	1.4339

(3) 経費削減に係るもの

	2022年度 (実績)	2023年度 (見込)	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
材料費対医業収益比率 (%)	20.1	19.8	18.5	18.0	17.5	17.1
薬品費対医業収益比率 (%)	10.0	9.9	9.0	8.4	8.2	8.0
委託費対医業収益比率 (%)	8.1	8.7	8.1	8.1	7.9	7.7
給与費対医業収益比率 (%)	66.6	65.7	59.9	57.0	55.3	54.3
減価償却費対医業収益比率 (%)	7.0	8.0	7.3	7.7	7.3	7.2
100床当たりの職員数(人)	181	186	187	187	187	187
後発医薬品の使用割合(%)	90.4	91.0	91.5	92.0	92.5	93.0

(4) 経営の安定性に係るもの

	2022年度 (実績)	2023年度 (見込)	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
常勤医師数(人)	41	43	44	45	45	45
常勤看護師数(人)	259	259	260	260	260	260
その他の医療従事者数(人)	206	216	218	218	218	218
年度末現金保有額(百万円)	2,069	1,372	834	545	437	444
年度末企業債未償還額(百万円)	5,014	4,808	4,899	4,569	4,173	3,771

6 経常収支に係る数値目標

	2023年度 (見込)	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
医業収益	5,676,284	6,273,033	6,665,984	6,876,070	7,002,802
(修正医業収益)	5,249,450	5,823,033	6,155,984	6,376,070	6,512,802
医業費用	6,675,106	6,782,856	6,985,621	6,976,594	6,979,390
医業損益	▲ 998,822	▲ 509,823	▲ 319,637	▲ 100,524	23,412
償却前医業損益	▲ 545,716	▲ 54,967	190,984	401,070	527,802
医業外収益	382,063	480,675	502,652	506,362	520,599
医業外費用	386,415	398,388	362,052	358,838	355,080
医業外損益	▲ 4,352	82,287	140,600	147,524	165,519
経常損益	▲ 1,003,174	▲ 427,536	▲ 179,037	47,000	188,931

第3 公立岩瀬病院経営強化プランの点検・評価・公表等

本プランの点検・評価にあたっては、評価の客観性を確保するため、外部有識者や地域住民等からなる評価委員会を設置し、当院が果たすべき役割・機能発揮の状況について年1回程度評価・検証を行います。